

玉小だより

第9号

令和8年2月2日

【学校教育目標】

○進んで学ぶ子

○助け合う子

○元気な子

「仲間と元気いっぱい活動し、笑顔あふれる学校」

～ 避難訓練（防災教育）を通して ～

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、日本海側を中心に大雪のニュースが届いています。また、乾燥した日が続き、各地で山火事の発生も報じられています。これ以上、被害が広がらないことを願ってやみません。そのような中でも「子供は風の子」と言われるように、本校の児童は寒さに負けず、元気に外遊びを楽しんでいます。鬼ごっこや縄跳び、サッカーなど、それぞれが思い思いの遊びに親しむ姿が見られます。

さて、先月に地震を想定した避難訓練を実施しました。本校では、学期始めに「いざという時」に備えて避難訓練を行っています。今年度の訓練内容は次のとおりです。

1学期	火災発生を想定した訓練	ねらい：避難経路の確認
2学期	不審者侵入を想定した訓練	ねらい：適切な対応の仕方の確認
3学期	地震発生を想定した訓練	ねらい：適切な対応の仕方の確認

3学期には、1月に「休み時間に大きな地震が発生した」という想定で訓練を行いました。休み時間中の訓練であったため、校庭や前庭、廊下など、教室以外の場所において担任教諭が近くにいない状況も想定されました。そのため、自分で判断し、避難行動をとることが求められました。訓練に先立ち、様々な場所にいる場合の避難行動について事前に学習しましたが、実際に適切な行動をとることは容易ではありません。例えば、前庭にいた児童は頭を守り、低い姿勢をとることはできていましたが、遊具の近くにとどまっている様子も見られました。事前指導では、大きな地震が起きた際には「倒れてきそうなもの」「落ちてきそうなもの」「移動してきそうなもの」から離れ、机などの下に入り頭部を守ること。また、机などが無い場所では頭を保護して低い姿勢をとることを指導しています。児童ができる限り安全な場所を選び、避難行動をとるためには状況に応じて判断する力を身に付けることが大切です。そのためにも、必要な知識を身に付け、判断し、行動に移せるよう、今後も様々な場面を想定した訓練を継続してまいります。

内閣府によりますと、関東にマグニチュード7クラスの大規模地震、いわゆる首都直下型地震の発生確率は「30年以内に70%」とされています。（令和7年1月時点）また、令和7年12月に見直された首都直下型地震の被害想定では、死者数約1万8千人、全壊・焼失棟数約40万棟と前回（平成25年）の想定より減少したものの、依然として国難級の被害が想定されています。地震はいつ起こるかわかりません。ご家庭でも大きな地震が起きた場合の備えや、自宅周辺の避難場所についてお子さんと一緒に確認いただければ幸いです。今後とも、本校の防災教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【1月 学校行事等の取組】

〈 競書会 1月9日 3～6年生 〉

体育館で競書会を行いました。

寒い中でしたが、どの子も真剣に取り組み、納得のいく一枚を仕上げられたようです。



〈 読み聞かせ 月1回 全学年 〉

月1回、地域のボランティアの皆様による読み聞かせをしています。

子供たちは、毎月この時間を楽しみにしています。



〈 スケート教室 1月16・27日 4～6年生 〉

県内唯一の手作り天然リンク「上サ・スケート場」で、スケート学習を行いました。

地域の新田様にご指導をいただきながら、楽しく活動することができました。



2月の行事予定

- 4日 読み聞かせ
- 5日 町全教職員研修会
(全学年5時間授業)
- 6日 漢字検定(4年生)
- 7日 PTA資源回収
- 17日 授業参観・懇談会
(3・4年)
- 19日 授業参観・懇談会
(5・6年)
- 20日 授業参観・懇談会
(1・2年)

町制施行20周年記念プレミアム給食

1月30日に、記念給食が提供されました。

メニューは「おめで鯛スープ(鯛のすり身入り)」「お祝いコロッケ(祝20周年のラビたんイラスト入り)」「つぼみサラダ(未来が花開くように)」「福みかんジェラート(幸福を願って)」でした。



